

# 平成27年度第1回 「広島市青少年問題協議会」

## 広島市における青少年問題の現状 (資料編)

	【頁】
1 広島市における青少年非行の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 広島市の児童生徒の携帯電話・スマートフォンの 利用状況等・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3 「10(テン)オフ運動」強化週間における 児童生徒アンケート集計結果・・・・・・・・	6
4 広島市立学校における不登校・いじめ・暴力行為の状況・・	10
5 「いじめ110番」電話相談実施状況・・・・・・・・	11

# 1 広島市における少年非行の現状

(1) 近年、広島市の刑法犯少年の検挙人数は減少傾向にあるが、広島市の「少年人口に対する非行少年の割合」は全国平均と比較して高く、平成 26 年の数値は、全国の 2 倍に近い「10.0 件」となっている。そのため、非行防止のための施策を強化していく必要がある。

〔表 1〕 広島市の刑法犯少年の検挙人数 (単位：人)

	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年
小学生	123	83	105	75	98
中学生	932	1019	635	620	597
高校生	409	347	316	266	279
大学生・その他学生	60	80	74	49	35
有職・無職少年	215	190	143	165	122
合 計	1,739	1,719	1,273	1,175	1,131

〔表 2〕 少年(10~19 歳)人口 1,000 人あたりに占める刑法犯非行少年の人口比 (単位：人)

	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年
全 国	8.6	7.9	6.7	5.9	5.2
広島市	15.2	15.1	11.2	10.3	10.0

(2) 近年、広島市の刑法犯少年の再非行率は、全国平均を常に上回っており、平成 26 年の数値「35.5%」は、3 人に 1 人以上の割合で再非行を行っていることを示している。特に、中学卒業後、高校等へ進学しない少年(有職少年、無職少年)の再非行率が高いことを改善する対策が必要である。

〔表 3〕 刑法犯少年の再非行者率 (単位：%)

		H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年
全 国		28.5	29.4	30.3	30.3	30.8
広島市		31.1	32.2	34.2	33.5	35.5
広島市 内 訳	小学生	9.8	9.6	9.5	1.3	12.2
	中学生	26.6	31.5	32.8	28.7	36.2
	高校生	32.8	25.6	33.9	32.3	33.0
	大学生・その他学生	26.7	16.3	23.0	30.6	8.6
	有職少年、無職少年	60.5	64.7	65.0	69.1	63.9

〔表 4〕 広島市の刑法犯少年の再非行者数 (単位：人)

	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年
小学生	12	8	10	1	12
中学生	248	321	208	178	216
高校生	134	89	107	86	92
大学生・その他学生	16	13	17	15	3
有職少年、無職少年	130	123	93	114	78
合 計	540	554	435	394	401

- (3) 近年、暴力行為の発生件数は減少傾向にあるが、依然として中学生1,000人あたりの発生件数は常に全国平均より高い状況にあり、スクールサポーター等の対策を集中的に進める必要がある。

〔表5〕校内暴力の補導人員

(単位：人)

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
全国	1,434	1,506	1,608	1,771	1,545
広島市	85	84	78	77	74
広島県	177	193	169	154	194

〔表6〕公立中・高等学校における暴力行為の発生件数

(単位：件)

		発生件数		1,000人あたりの発生件数		
		広島県	広島市	全国	広島県	広島市
中	平成24年度	979	472	11.3	13.6	16.1
	平成25年度	891	459	12.0	12.5	15.7
	平成26年度	849	367	10.7	12.0	12.6
高	平成24年度	230	8	2.8	4.5	1.3
	平成25年度	194	4	2.4	3.7	0.7
	平成26年度	135	5	2.1	2.6	0.8

(注) ※1 この数値は、広島市立中学校・高等学校におけるデータ

※ 表1～5は、警察統計資料より抜粋  
表6は、県教委、市教委調査資料より抜粋

## 2 広島市の児童生徒の携帯電話・スマートフォンの利用状況等

〔広島市が実施した携帯電話の利用状況等に関するアンケート調査結果による〕

### (1) 携帯電話・スマートフォンの所持率等

(単位：%)

調査項目	小学生(4～6年生)		中学生(1～3年生)		高校生(1～3年生)	
	H23	H26	H23	H26	H23	H26
1 携帯電話等の所持率 (本人専用)	22.6	41.8	43.5	45.1	94.0	93.1
2 1のうちスマートフ ォンの占める割合	1.7	20.8	4.8	63.0	12.0	84.4
3 児童生徒のフィルタ リングの認知度	33.3	59.0	65.2	76.1	97.2	98.5

※ 調査対象：保護者、ただし、フィルタリングの認知度は児童生徒

### (2) 携帯電話・スマートフォンの使用開始時期 (H26)

(単位：%)

	小学校 入学前	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学校 1年	中学校 2年	中学校 3年	高校 1年	高校 2年	高校 3年
小学生(4～6年生)	2.0	47.0	50.8	—	—	—	—	—	—
中学生(1～3年生)	1.1	12.8	28.6	36.6	15.7	5.1	—	—	—
高校生(1～3年生)	1.2	5.0	6.4	9.4	8.0	11.2	53.6	2.6	2.4

※ 調査対象：保護者

### (3) 平日の携帯電話・スマートフォンでのインターネット使用時間(1日平均：H26)

(単位：%)

	使っ て い ない	30分 未 満	30分 以上 1 時間 未 満	1時間 以上 2 時間 未 満	2時間 以上 3 時間 未 満	3時間 以上 4 時間 未 満	4時間 以上 5 時間 未 満	5時間 以上	わか ら ない
小学生(4～6年生)	21.6	42.2	13.4	8.4	4.1	1.0	1.4	1.6	6.2
中学生(1～3年生)	7.2	15.3	15.3	22.7	12.1	7.4	4.5	8.0	7.6
高校生(1～3年生)	2.3	9.0	15.5	26.5	19.8	11.0	5.0	5.7	5.3

※ 調査対象：児童生徒

## (4) 平日の携帯電話・スマートフォンでのインターネット夜間使用 (H26)

(単位：%)

	9時 まで	10時 まで	11時 まで	12時 まで	1時 まで	2時 まで	その他	わから ない
小学生(4～6年生)	38.5	18.1	3.5	1.2	1.0	0.2	17.9	19.6
中学生(1～3年生)	13.6	25.1	21.0	17.0	5.8	2.5	4.3	10.7
高校生(1～3年生)	5.1	9.0	22.3	32.5	12.7	4.5	3.7	10.3

※ 調査対象：児童生徒

## (5) 携帯電話・スマートフォンでのインターネット使用内容 (H26)

(複数回答、単位：%)

使用内容	小学生(4～6年生)	中学生(1～3年生)	高校生(1～3年生)
コミュニケーション(メール等)	55.8	80.0	96.7
ゲーム	47.3	68.6	71.7
動画視聴	37.2	72.2	80.1
音楽視聴	30.6	68.8	76.6
ニュース	15.3	35.4	52.5
情報検索	29.7	58.4	77.3
地図・ナビゲーション	15.5	32.4	61.4
電子書籍	10.8	22.8	28.3
ショッピング・オークション	4.0	11.4	23.1

※ 調査対象：児童生徒

## (6) インターネット上での経験 (H26)

(複数回答、単位：%)

経験内容	小学生 (4～6年生)	中学生 (1～3年生)	高校生 (1～3年生)
迷惑メッセージやメールが送られてきたことがある	7.4	28.2	49.2
自分が知らない人やお店などからメッセージやメールが来たことがある	9.6	29.6	40.7
親に話しにくいサイトを見たことがある	1.3	5.6	12.9
インターネットにのめり込んで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったことがある	5.1	21.8	27.6
インターネットで知り合った人とメッセージやメールなどのやりとりをしたことがある	2.1	19.0	28.0
インターネットで知り合った同性と会ったことがある	0.6	7.0	7.9
インターネットで知り合った異性と会ったことがある	0.6	3.4	5.1
インターネットで知り合った人との人間関係で悩んだことがある	0.4	3.0	3.1
悪口やいやがらせのメッセージやメールを送られたり、書き込みをされたことがある	4.0	6.8	6.9
悪口やいやがらせのメッセージやメールを送ったり、書き込みをしたことがある	1.5	5.2	3.9
ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある	1.7	4.8	4.0

※ 調査対象：児童生徒

## (7) 携帯電話・スマートフォンの使用上のルール (H26)

(複数回答、単位：%)

家庭で決めている使用上のルール内容	小学生 (4～6年生)	中学生 (1～3年生)	高校生 (1～3年生)
利用する時間を決めている	29.5	26.2	9.0
利用する場所を決めている	15.1	13.4	6.4
メールやメッセージを送る相手を制限している	32.5	18.0	6.7
使用するサイトやアプリの内容を決めている	17.4	15.8	9.7
他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど、送信・投稿する内容を決めている	17.0	21.2	15.4
パスワードや電話帳情報、位置情報(GPS)などの利用者情報が漏れないようにしている	25.5	29.8	25.9
ゲームやアプリの利用料金の上限や支払方法を決めている	13.6	22.2	15.6
困ったときにはすぐ保護者に相談するように決めている	42.9	31.4	20.9
特にルールを決めていない	20.0	28.8	46.6

※ 調査対象：児童生徒

## (8) ルールの遵守 (H26)

(複数回答、単位：%)

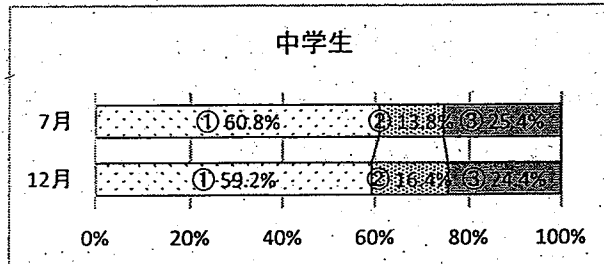
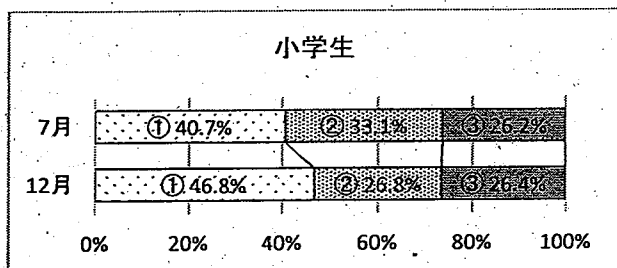
ルールの遵守状況	小学生 (4～6年生)	中学生 (1～3年生)	高校生 (1～3年生)
守っている	66.5	60.3	56.5
どちらかという守っている	14.5	20.0	16.9
どちらかという守っていない	2.4	3.0	1.8
守っていない	1.3	0.7	1.3
わからない	15.4	16.1	23.5

※ 調査対象：児童生徒

### 3 「10オブ運動」強化週間における児童生徒アンケート集計結果

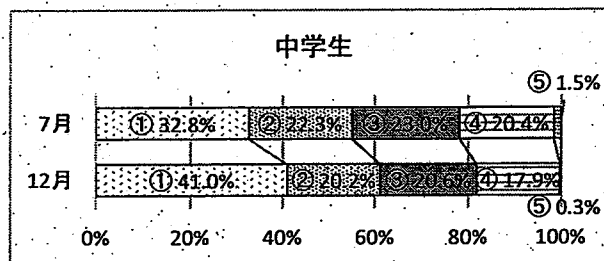
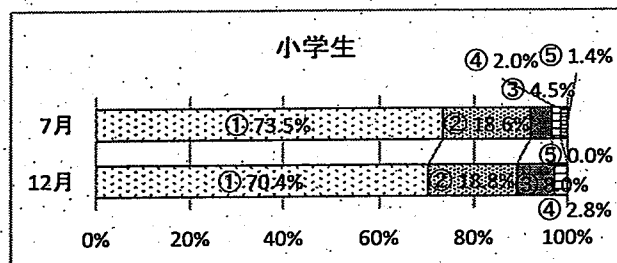
#### 1. (問1)携帯電話・スマートフォン等を使っていますか？

- ① 自分専用の携帯・スマホ等を所有し、使っている。
- ② 家族が持っている携帯・スマホ等を一緒に使っている。
- ③ 使っていない。



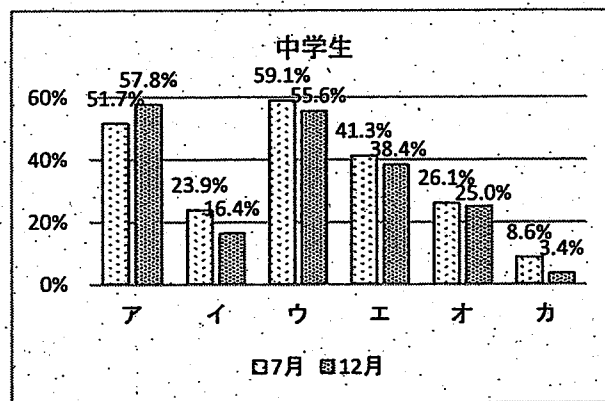
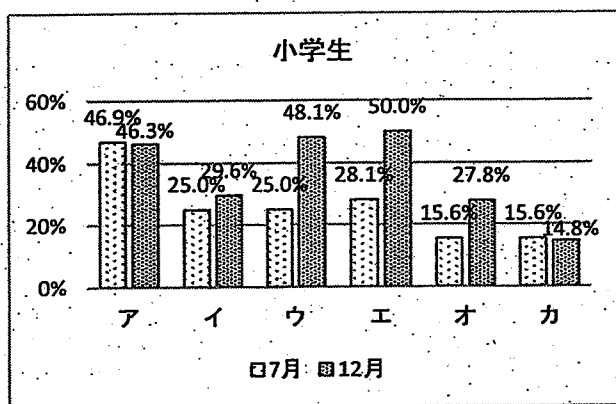
#### 2. (問2)「夜9時以降は送信しない。」について、何日達成できましたか？

- ① 全ての日で達成できた。
- ② 4日以上達成できた。
- ③ 達成できない日が多かった。
- ④ 全く達成できなかった。
- ⑤ 未回答



#### 3. (問2)未達成(③、④)の理由(複数回答あり)

- ア 10オブ運動強化週間の取組を忘れていた。
- イ 夜9時を過ぎたのがわからなかった。
- ウ 友達からメール、ライン等が送られてきたから。
- エ 家族や友達に連絡することがあったから。
- オ 少しくらい過ぎても良いと思った。
- カ その他



#### 「その他」の内容 (小学生)

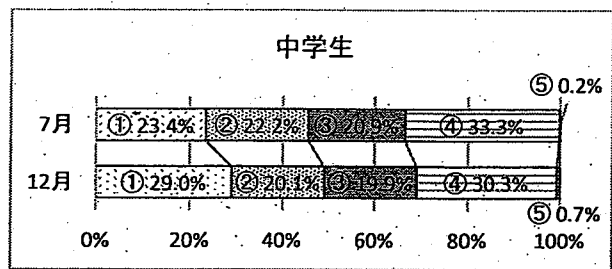
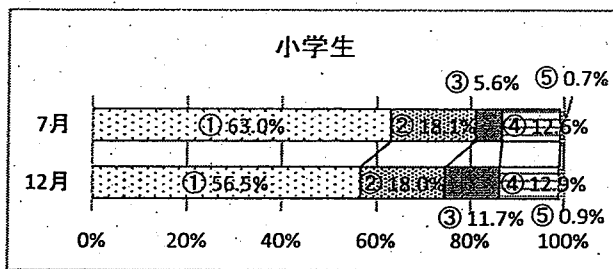
- ・塾が9時過ぎまであり、親に連絡する必要があるため。
- ・ラインが楽しくてやめられなかった。
- ・家庭内で10時までOKをもらっているから。

(中学生)

- ・時間割など学校に関わることが分からなかったときに聞いたりするから。
- ・塾終わりの迎えの連絡のため。
- ・11時まで自宅で勉強し、寝る前に友達からのラインに返信するようにしているから。
- ・塾から帰ったら9時を過ぎているから。
- ・ラインに夢中になっていたから。

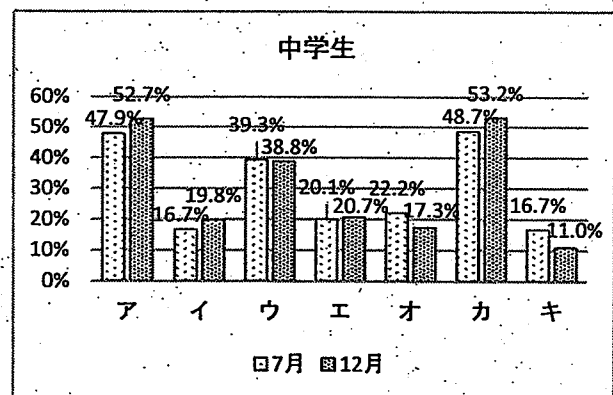
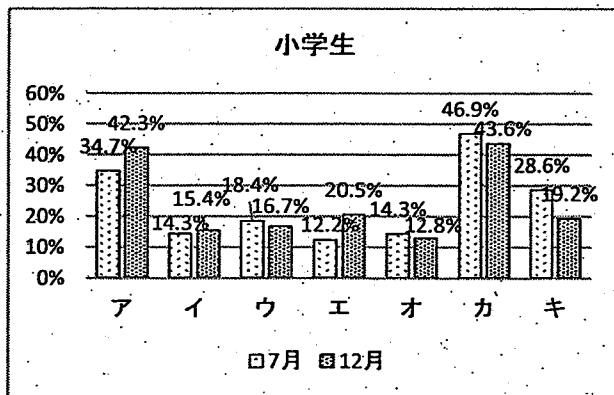
#### 4. (問3)「遅くとも夜10時までには電源をオフ」について何日達成できましたか？

- ① 全ての日で達成できた。
- ② 4日以上達成できた。
- ③ 達成できない日が多かった。
- ④ 全く達成できなかった。
- ⑤ 未回答



#### 5. (問3)未達成(③、④)の理由(複数回答あり)

- ア 10オフ運動強化週間の取組を忘れていた。
- イ 夜10時を過ぎたのがわからなかった。
- ウ 友達からメール、ライン等が送られてきたから。
- エ メールやライン等が気になって電源を切れなかった。
- オ 少しくらい過ぎてても良いと思った。
- カ ゲーム、動画、音楽鑑賞などを止められなかった。
- キ その他



「その他」の内容

(小学生)

- ・メールはしないが、アラームを使用するため電源は切らない。
- ・習い事の連絡のため。
- ・調べもので使用するから。
- ・緊急の連絡があると困るから。
- ・充電するため。

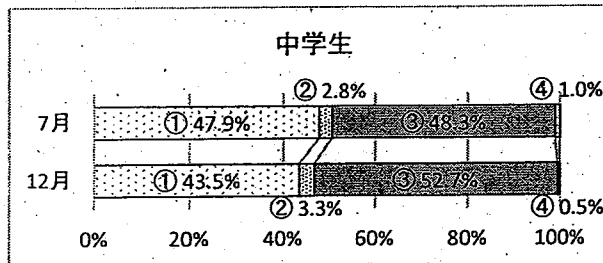
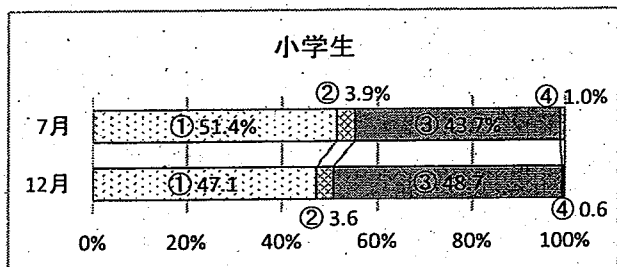
(中学生)

- ・アラームをセットしていた。
- ・塾が終わった後、親と連絡を取り合っていたため。
- ・一度電源を切ると手間がかかるから。
- ・音楽を聴きながら眠るため。
- ・送信しなければ電源を切る必要がないと思うから。
- ・塾がある日は10時を過ぎるから。
- ・使わないなら、切る必要もないと思うから。
- ・勉強が終わったら遊んでいいというルールがあるから。



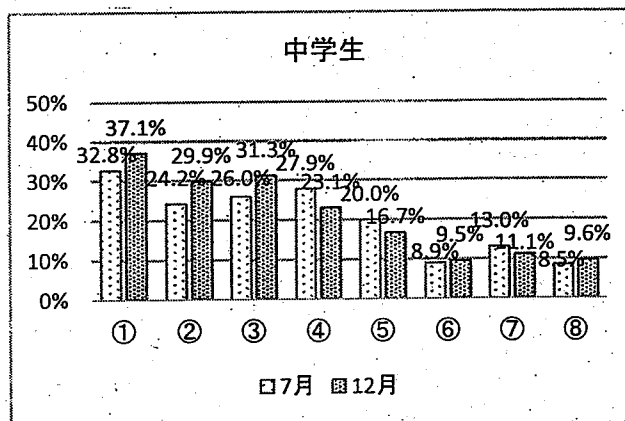
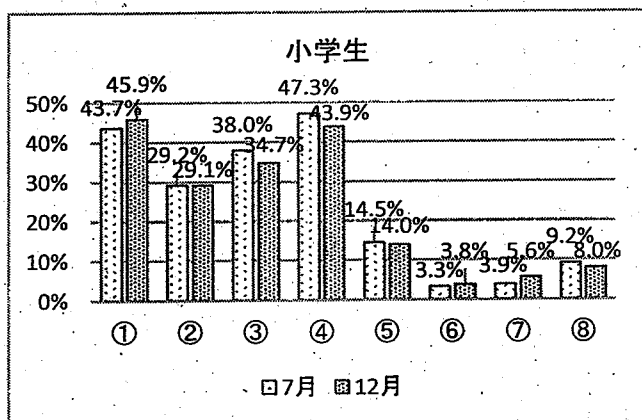
6. (問4) 家庭で、ケータイ・スマホ等のルールを作りましたか？

- ① 以前から作っている。
- ② 強化週間をきっかけに、ルールを作った。
- ③ 作っていない。
- ④ 未回答



7. (問5) 10オフ運動強化週間の取組をしてどうでしたか？(複数回答あり)

- ① 早寝早起きなど規則正しい生活ができた。
- ② 勉強時間が増えた。
- ③ 勉強に集中できた。
- ④ 家族との会話が増えた。
- ⑤ 夜遅くまでの友達とのやり取りを止める良いきっかけとなった。
- ⑥ 友達から夜9時を過ぎてもメールやラインが送られてくるので困った。
- ⑦ 電源をオフしても友達からのメールが気になった。
- ⑧ その他



「その他」の内容  
(小学生)

- ・ゲームの時間が減った。
- ・遊ぶ時間が増えた。
- ・スマホがなくてもあまり困らなかった。
- ・これからもやっていこうと思う。
- ・9時を過ぎても、家族からメールやラインが送られてくる。
- ・普段と変わらなかった。

(中学生)

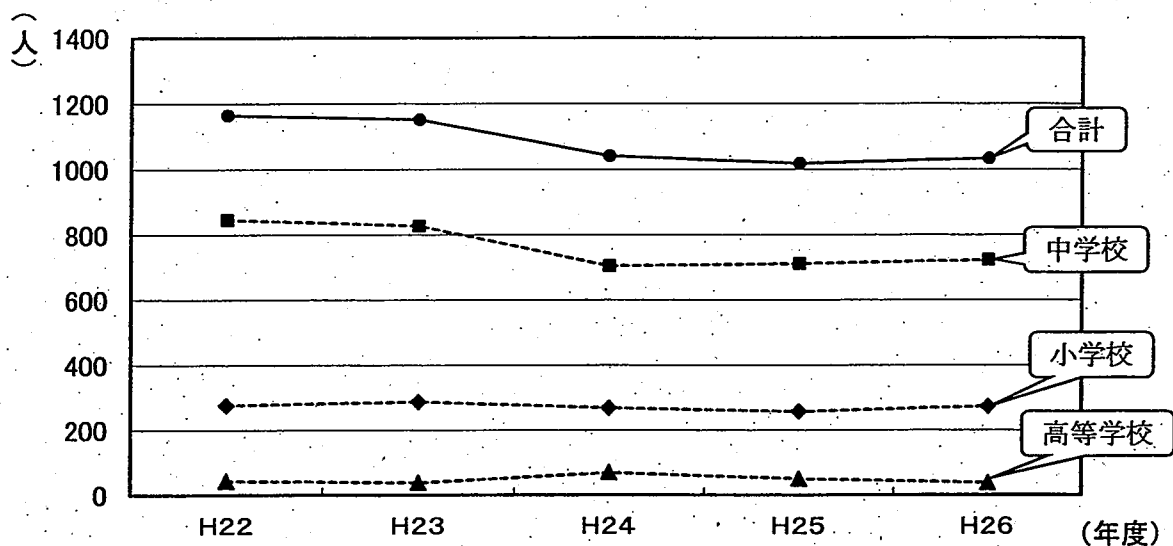
- ・睡眠時間が増えた。
- ・生活のリズムが整った。
- ・本を読もうと思うようになった。
- ・本を読む時間が増えた。
- ・読書をするという目標を見つけた。
- ・目が疲れなかった。
- ・ゲームを止められなかった。
- ・自分でルールを作れた。
- ・スマホ、タブレットが気になった。
- ・前から9時以降はメールを送らないというルールを作っているから、強化週間中も特に変わらなかった。
- ・いつもと変わらなかった。
- ・不便だった。
- ・やる意味がない。

## 4 広島市立学校における不登校・いじめ・暴力行為の状況

### (1) 不登校の状況

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)をいう。  
 なお、不登校児童生徒数は「不登校」を理由として、30日以上欠席した者の数である。

不登校児童生徒数の推移



	区分	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	人数	276人	287人	268人	257人	273人
	割合	0.41%	0.43%	0.41%	0.39%	0.42%
中学校	人数	846人	827人	705人	712人	723人
	割合	2.91%	2.82%	2.41%	2.44%	2.48%
高等学校	人数	43人	38人	69人	50人	38人
	割合	0.73%	0.64%	1.16%	0.84%	0.64%
合計	人数	1,165人	1,152人	1,042人	1,019人	1,034人

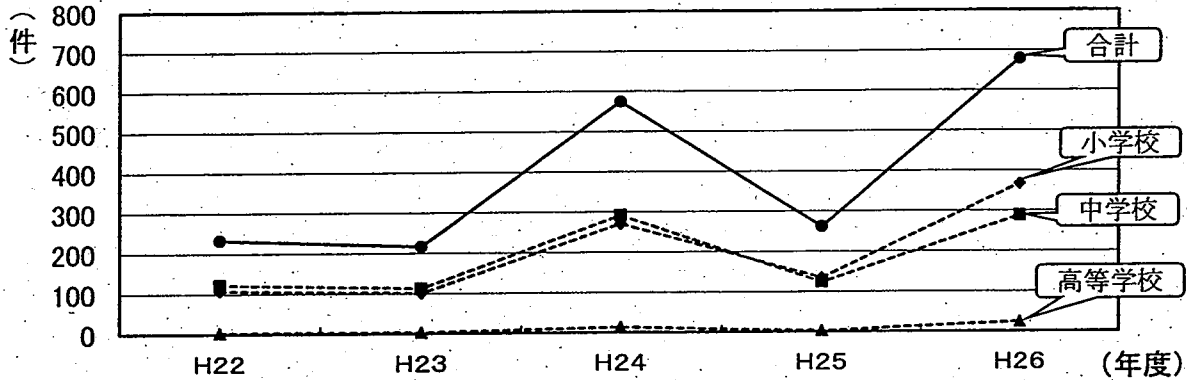
平成26年度の不登校児童生徒数は、小学校273人、中学校723人、高等学校38人、合計1,034人であり、平成25年度と比較して全体で15人増加している。

全児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合は、平成26年度は前年度に比べ、小学校では0.03ポイント、中学校では0.04ポイント上がっているが、高等学校では0.2ポイント下がっている。

## (2) いじめの状況

いじめとは、当該児童生徒が、一定の人的関係のある者から、心理的又は物理的な影響を与える行為を受けたことにより、心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめの認知件数の推移



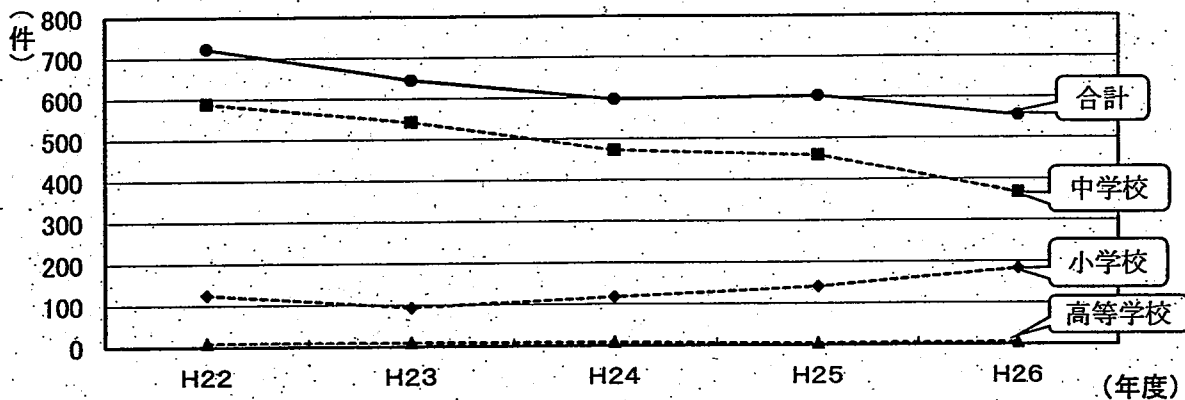
区分	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	108	101	270	135	367
中学校	122	113	291	124	288
高等学校	3	3	13	3	24
合計	233	217	574	262	679

平成26年度のいじめの認知件数は、小学校367件、中学校288件、高等学校24件、合計679件であり、平成25年度と比較して全体で417件増加している。

## (3) 暴力行為の状況

暴力行為とは、児童生徒が起こした暴力行為を指すものとし、「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」、「器物損壊」の形態に分類して実態把握している。

暴力行為の発生件数の推移



区分	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	125	94	117	141	183
中学校	589	543	472	459	367
高等学校	9	9	8	4	5
合計	723	646	597	604	555

平成26年度の暴力行為の発生件数は、小学校183件、中学校367件、高等学校5件、合計555件であり、平成25年度と比較して全体で49件減少している。

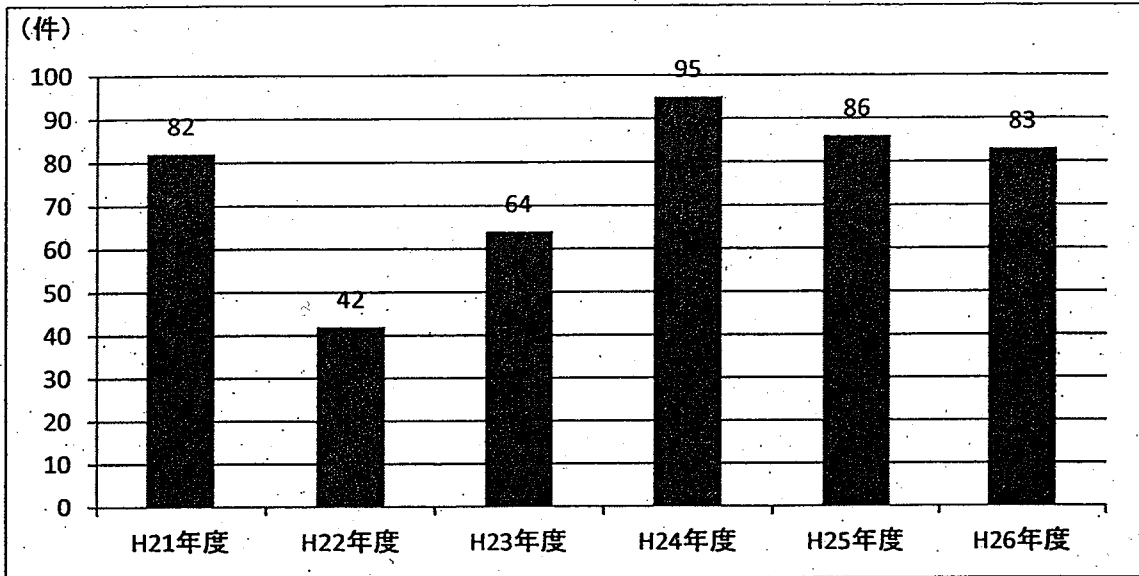
## 5 「いじめ110番」電話相談実施状況(平成26年度)

広島市青少年総合相談センター

### (1) 夜間・休日いじめ相談受理状況

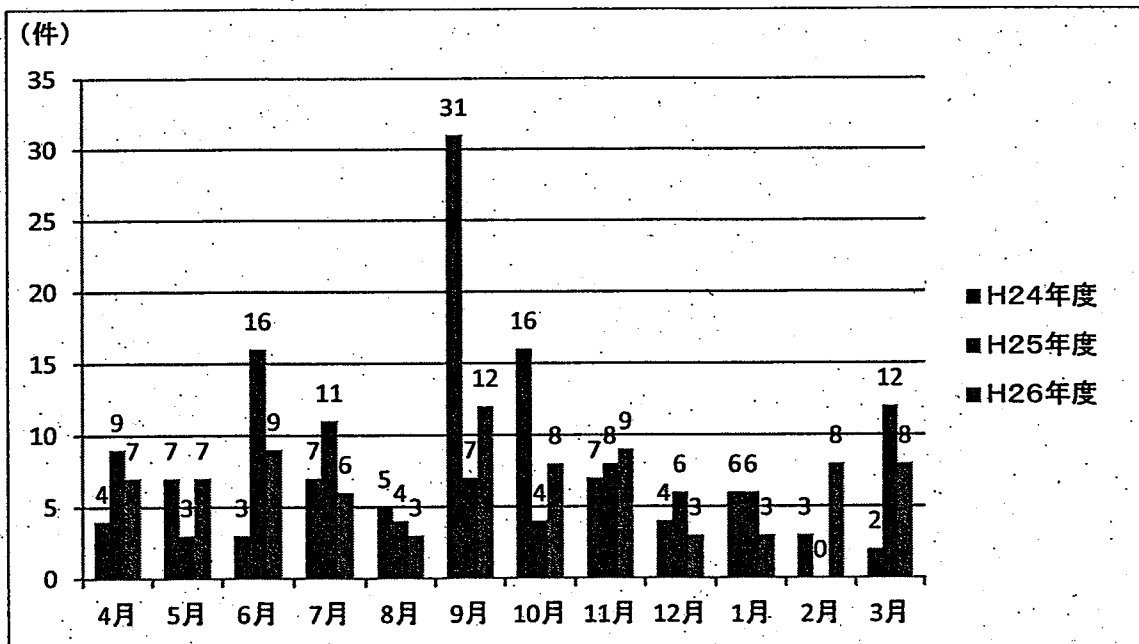
#### ① 年度別推移

平成26年度の夜間・休日における「いじめ」を主訴とする相談の受理件数は83件で、前年度の86件に比べ3件(前年比0.9%)の減少であった。



#### ② 月別いじめ相談件数

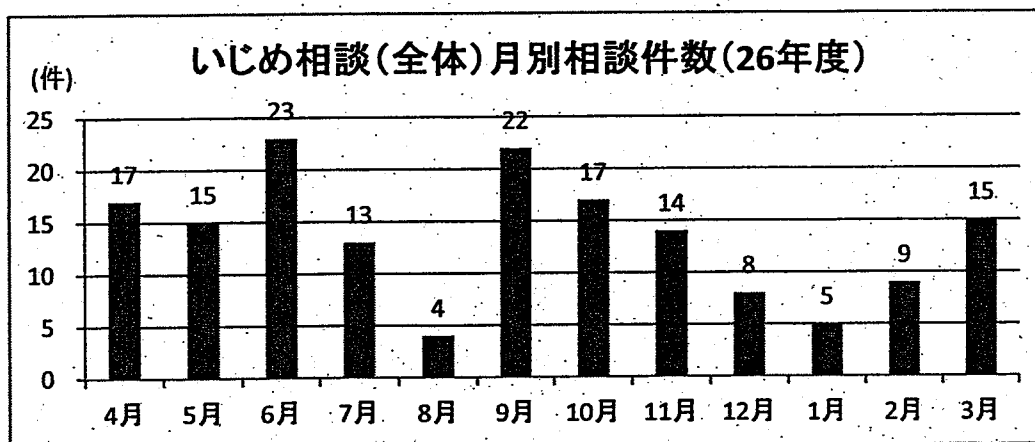
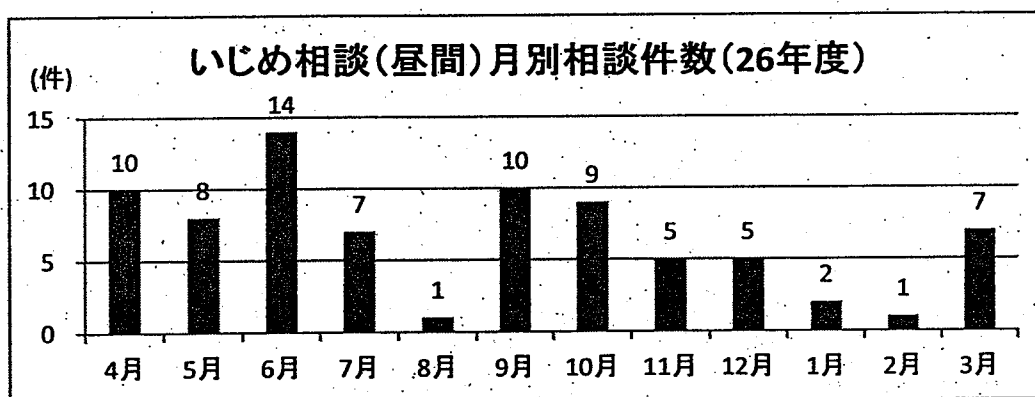
平成26年度の特徴としては、9月の12件が最も多く、次いで6月の9件となっている。総数は過去6年間では3番目に多い件数となっている。



(2) いじめ相談の月別件数について(全体)

(件)

26年度	夜間・休日			昼間 (月～土の9:00～17:00)	いじめ合計
	いじめ相談 件数(うち本人)	その他	計	いじめ相談 件数(うち本人)	
4月	7 ( 0 )	3 7	4 4	10 ( 5 )	17 ( 5 )
5月	7 ( 5 )	3 7	4 4	8 ( 1 )	15 ( 6 )
6月	9 ( 6 )	2 2	3 1	14 ( 3 )	23 ( 9 )
7月	6 ( 4 )	1 7	2 3	7 ( 2 )	13 ( 6 )
8月	3 ( 1 )	2 7	3 0	1 ( 0 )	4 ( 1 )
9月	12 ( 8 )	6 6	7 8	10 ( 4 )	22 (12)
10月	8 ( 6 )	5 2	6 0	9 ( 5 )	17 (11)
11月	9 ( 2 )	3 8	4 7	5 ( 1 )	14 ( 3 )
12月	3 ( 1 )	2 8	3 1	5 ( 1 )	8 ( 2 )
1月	3 ( 0 )	3 2	3 5	2 ( 0 )	5 ( 0 )
2月	8 ( 1 )	3 6	4 4	1 ( 1 )	9 ( 2 )
3月	8 ( 3 )	3 8	4 6	7 ( 2 )	15 ( 5 )
合計	83 ( 37 )	430	513	79 ( 25 )	162 ( 62 )



※ 夜間・休日のグラフは前ページ参照